

令和7年度 財務部の運営方針

部	財務部	部長	西戸 浩詞
---	-----	----	-------

【基本方針】

市の施策を着実に実行していくため、歳入の根幹となる市税の確保に努めるとともに、限られた財源を効果的かつ効率的に活用し、将来にわたる健全で安定した財政運営を行うため、次の目標に取り組みます。

- ① 予算の執行状況を注視し、適正な予算配分について精査・検討するとともに、将来の公債費負担の軽減に努めます。
- ② 市税の公平で適正な課税と徴収率の向上に努めます。
- ③ 契約の公正性、透明性の向上に努めながら、競争性の確保を図ります。

【重点目標】

1	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和7年度 達成状況
	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立					C
2	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和7年度 達成状況
	市税の公平で適正な課税及び徴収					B
3	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和7年度 達成状況
	適正な入札及び契約の執行					B

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	財務部
---	-----

重点目標 1	計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
--------	----------------------------

今年度の達成目標
令和8年度予算における収支均衡を図ります。



達成状況	達成度
令和8年度予算においては、財政調整基金繰入金6億9千万円、減債基金繰入金1億円を計上する予算となり、収支均衡に至ることは出来ませんでした。	D 未達成

今年度の達成目標
投資的経費の財源となる市債発行の平準化を図ります。



達成状況	達成度
将来的な投資的経費の平準化に向けた検討を進めることは出来ましたが、市債発行の平準化には至りませんでした。	C 一部達成



具体的取組
各事業について、コスト削減や実施手法の見直しを促すとともに、経営改善ワーキンググループで新規事業の実施及び既存事業に関する検討を行います。



具体的な取組実績
予算編成説明会や予算査定で実例を挙げるなどすることにより、事業実施手法の抜本的な見直しなどを促しました。経営改善ワーキンググループでは新規事業の実施の審査の厳格化を行うとともに、既存事業に関するヒアリングを行い、予算の組替や財源の確保への検討を行いました。

所管室・課	財政課
具体的取組	
大型事業における市債発行及び償還の見直しを作成し、経営改善ワーキンググループで事業実施スケジュールや実施規模について検討します。	



具体的な取組実績
公共施設再編整備ワーキンググループにおいて今後の市債発行及び償還の見直しを作成し、検討中の事業を実施することによる影響の試算などを行いました。経営改善ワーキンググループにおける大型事業の市債発行及び償還の見直しを活用した事業実施スケジュールや実施規模の検討は行えませんでした。

総合評価・総括
収支均衡については、令和8年度予算においても前年度と同様に6億9千万円の財政調整基金繰入金を計上しましたが、前年度比で1億円減らすことができたことから、職員の意識改革などによる改善に向けた兆しが出始めているものと考えています。また、市債発行の平準化については、大型事業実施の可否を精査した際に市債発行の検討を行ったことから、今後の大型事業でも同様の検討を行うことで平準化に繋がるものと考えます。

全体の達成度
C 一部達成

今後検討すべきこと
令和10年度収支均衡の目標が提示されたことから、これまで以上に即効性のある収入の確保、支出の削減に向けた取組を実施していく必要があります。また、今後は将来的な負担が増加する大型事業も控えていることから、市債発行についてもこれまで以上に先を見据えて行っていく必要があります。

部	財務部
---	-----

重点目標 2	市税の公平で適正な課税及び徴収
--------	-----------------

今年度の達成目標
課税調査による課税客体の的確な把握に努め、公平で適正な課税による税務行政の信頼を確保します。



達成状況	達成度
取組の結果、特別徴収個人市民税9,170,800円、法人市民税1,148,900円、償却資産課税分固定資産税1,841,500円、合計12,161,200円を新たに課税することができました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
徴収率の向上を目指し、令和6年度の徴収率を上回ることを目標とします。



達成状況	達成度
令和8年3月末時点の市税徴収率は、95.5%でした。前年度同時期の市税徴収率が95.2%であったことから、前年度から徴収率を向上させることができました。	A 達成



具体的取組
未申告者や未申告事業所、課税資料未提出事業所に対する催告、課税対象となる固定資産に関する現地訪問調査などを積極的に実施します。



具体的な取組実績
給与支払報告書未提出事業所への提出催告（88件）、法人市民税未申告法人等への課税調査（58件）及び償却資産未申告事業所への課税調査等（3件）を実施しました。

所管室・課	課税課
具体的取組	
税の公平性を確保するため、厳正な滞納処分を実施します。また、滞納を未然に防ぐため、口座振替による納付を勧奨します。	
所管室・課	納税課



具体的な取組実績
納期限内に納税されない場合は督促し、それでも納付がない場合には、厳正に滞納処分を行いました。オンライン預貯金照会システムを導入し、迅速に資産調査を行うことができたため、滞納処分件数は増加しました。

総合評価・総括
令和7年度は前年度に引き続き、申告催告や課税調査、国の機関等への調査を実施するなど、主に未申告者の適正課税への取組を推進し、税の公平性の確保に努めました。また、徴収率の向上に関しては、徹底した財産調査を行い、厳正に滞納処分を進めました。スマートフォン決済アプリやオンラインバンク等の納付手段が増えるなか、口座振替件数は微減に留めました。今後も出納閉鎖まで徴収率向上に向け、引き続き取組を進めます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
市税にかかる申告及び各種申請手続きのデジタル化を推進し、市民の利便性向上を図るため、市税申告に関するスマホ申告講習会の開催を通して、スマホを活用した申告・申請の普及を目指します。また、キャッシュレス納付等のデジタル化に対応するとともに、税負担の公平性を確保する観点から、徹底した財産調査と滞納整理を進め、滞納事案の解消を図ります。

部	財務部
---	-----

重点目標 3	適正な入札及び契約の執行
--------	--------------

今年度の達成目標
契約事務における透明性・公正性・競争性を確保します。



達成状況	達成度
入札等監視委員会における審議の結果、意見の具申や勧告等がなかったことから、適正な入札、契約が行われていることが確認されました。	A 達成

今年度の達成目標
入札案件の周知に努め、入札の中止や不調の件数を減らします。



達成状況	達成度
入札案件158件（不調・中止案件含む）のうち、入札参加者数が規定数を満たさず中止した案件は、11件（7%）でした。	B 概ね達成



具体的取組
外部有識者で構成する入札等監視委員会を開催し、入札及び契約内容の適正化を促進します。



具体的な取組実績
委員会は予定どおり3回開催し、8月に前年度下半期の建設工事と物品の購入、12月に前年度の業務委託、2月には今年度上半期の建設工事と物品の購入、それぞれの入札案件及び対象となる随意契約について、審議いただきました。



所管室・課	契約検査課
具体的取組	
入札案件ごとに、該当業者に対して案件資料を添付したメールを送信します。	
所管室・課	契約検査課



具体的な取組実績
電子入札、郵便入札、紙入札の執行に際し、指名業者及び参加資格のある該当業者に対し、入札案件資料を添付したメールを送付しました。

総合評価・総括
契約事務における透明性・公正性・競争性の確保については、対象となる契約案件を3回にわたり開催した入札等監視委員会において審議いただくことにより達成できたと考えます。特に委員会において審議できる時間には制約があるため、審議案件の抽出にあたっては、抽出に費やせる期間を約2週間とし、委員が十分に案件の内容を精査のうえ抽出していただく時間を確保するようにしました。また、入札参加対象業者に対して案件内容を添付したメールを送付することにより、入札中止の割合を前年度の11%から7%に減らすことができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
物価高騰などの影響により、不落案件が増加傾向にあるので、担当部署との打合せをより綿密に行い、不落案件の減少対策を検討していきたいと考えます。